

(委託)に登録されている
ことなど。
委託業者選定までのスケ
ジュールは、応募書類及び
病床機能の確保に関する調
査・研究④脳卒中、心筋梗
塞の心血管疾患及び糖尿病
に係る計画書の作成⑤関係

組合製品の販路拡大

最優先に取り組む

県コンクリート製品協組 ■ 賀詞交歓会



(本県が東京五輪のサーフィン会場となることから)
「組合員が一致団結して準備し、業界が大きな波に乗れるように」と乾杯の音頭をとる斎藤寿夫副理事長

千葉原コンクリート製品
協同組合(保美善和理事長)
の「2017年新年賀詞交
歓会」が20日、千葉市内の
京成ホテルミラマールで開
かれ、総勢50人余が出席。



保美理事長



神作・技術
管理課長

来賓を代表して、県土整備
備部技術管理課の神作秀雄
課長と千葉県中小企業団体
中央会の田子辰幸常務理事
が祝辞を述べた。
冒頭、主催者を代表して
保美理事長は、3年後に迫
った東京オリンピック・パ
ラリンピックについて「本
県でも関連する工事が期待
される」とする一方で「将

来の人口や個人消費の減少
問題など、当組合としては
依然として厳しさが続いて
いる」との現状を訴えた。
これらの状況下で同組合で
は、最優先課題として県産
品コンクリート製品の使用
拡大に取り組み、県土整備
部の助言を得てPRに努め
るとともに、品質の均一化
や顧客満足向上のため、組
合認定工場検査やISO9
001の維持継続、品質・
安全などの各種研修を実施
してきたことに言及。
**プレキャスト化を
県が「大いに期待」**
今年については「標準化
されている千葉県型側溝及
び蓋、長尺U型をはじめ、
組合ブランド製品である歩
車道境界ブロックと側溝蓋
を一体化させたBF、BF
L、BFSLブロック、道路
の車道部と歩道部間の雑
草を抑制するウエーブボウ
ソウ製品など、組合員が一
丸となって、これらの販路
拡大に努めたい」との抱負
を述べ、あいさつとした。

引き続き、来賓として神
作課長は、近年の建設業界
を取り巻く課題として、将
来の担い手確保や施工時期
の平準化の取り組みに言
及。そのうち、コンクリー
ト製品のプレキャスト化に
ついて「凄く重要なポジシ
ョンを占めており、我々も
大いに期待するところであ
る」と強調。「以前から組
合のみなさんは、これらを
通じて品質の向上や少人化
などに取り組まれている」
と前置きしたうえで「10年

後には技能労働者が3割減
少すると言われる中で、入
職者の確保に取り組みは
ならない。プレキャスト化
によりコスト面のみではな
く、工期短縮にも繋がるこ
とから、併行して進めて頂
きたい」と呼びかけた。
**新技術のPRの場
活用推進の支援も**
また、県内の建設関連企
業が開発した新技術や新工
法の活用を促進するため
「ちば産業技術」として広

く情報発信するとともに、
県産品の活用などを同課が
中心に進めていることを説
明。県産品の活用では「み
なさんが提案・開発された
新技術製品については、P
Rする場をつくるなどとし
て、活用が進むように支援
していきたい」と言明。さ
らに「色々な情報交換を行
いながら、本年も引き続き
連携して取り組んでいきな
い」との方針を示し、祝辞
とした。

工事



（延）▽和利和屋（和利和屋）
美）▽加藤与嗣治（和加藤建）
設）▽板倉慶宗（和板倉建）
（商事）▽山木 満（事務局）
マキ（同）
七五三理秀典（山ノ友会）
▽岩瀬正美（事務局）
▽佐藤

関東整備局 パネル展を開催

開催日は▽東京都▽日本橋
地下通路（東京メトロ三越
前駅付近）、2月4日～11日
日▽茨城県▽LALA方
デンつくば、2月13日～19日
日▽神奈川県▽らぽーと
横浜、2月21日～27日▽埼
玉県▽らぽーと富士見
3月5日～10日▽千葉県
大規模災害展▽千葉市船
所、3月13日～22日▽千葉
県・圏央道パネル展▽成
空港第2旅客ターミナル
3月13日～20日。

関東地方整備局は2月か
ら3月にかけて、東京都、
茨城県、神奈川県、埼玉県、
千葉県で大規模災害と自助
・共助・公助展および圏央
道のストック効果が見える
パネル展を開催する。
大規模災害展は首都直下
地震を見据え、道路啓蒙な
どの対策、TEC-FOR
CEの活動内容、災害時の
自助・共助・公助について
パネル展示を行う。圏央道
パネル展は、2月26日に境
古河つくば中央間が開通
する圏央道についてスタッ
ク効果を周知する。
開催地ごとの会場および

開催地ごとの会場および